

施策評価調書(4年度実績)

				施策コード	Ⅲ-4-(2)
政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部	
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部	
				長期総合計画頁	151

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の高速化の促進	広域交通ネットワークの強靱化の推進	

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i	大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)	①③	H26	73	76	76	100.0%	78												
ii	九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合(%)	①③	H30	52	52	52	100.0%	54												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	国道442号(久住拡幅Ⅱ)や佐田山香線立石工区の開通などにより、目標値を達成した。	達成
ii	達成	国道388号畑野浦楠本バイパスや臼杵津久見線(海添工区)の開通などにより、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路「大分宮河内IC～犬飼IC」間の早期事業化へ向けた計画段階評価の加速化、「竹田阿蘇道路」の整備促進と中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備促進及び「耶馬溪山国道路」「日田山国道路」の整備支援について、国への要望活動を引き続き実施した。 ・R4.12に中九州横断道路「竹田阿蘇道路」が工事着手された。また、R4.12に「大分～犬飼」間においても、第2回計画段階評価が審議され3つのルート帯が示された。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、シンポジウムの開催やPR動画の配信など県民の機運醸成を図るとともに、国への要望等を行った。 ・県や沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について、国とJR九州への要望を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路上の橋梁について、落橋を防ぐ補強対策を実施した。 ・災害に強い広域道路ネットワークの機能を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、優先整備区間のうち残る未事業化区間「院内IC～速見IC」間、「臼杵IC～佐伯IC」間の早期事業化について、国や関係機関への要望活動を引き続き実施した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	368
②	東九州新幹線推進事業	123.5	368
③	道路施設補修事業	—	136
	港湾整備事業	—	364

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R4.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田阿蘇道路の早期完成と、本市の主要幹線道路とのICの整備並びに大分～犬飼間の早期事業化について特段の配慮をお願いする。 ・日田山国道路及び耶馬溪山国道路の事業推進並びに国土交通省の直轄事業である三光本耶馬溪道路の早期完成に向けて県関係機関の力添えをお願いする。 ・東九州道の鹿児島までの全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いする。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(R4.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道の事業化された区間の早期完成と、優先整備区間の早期事業化 ・中九州横断道路(竹田阿蘇道路)の早期完成と東九州自動車道への接続について国や関係機関に働きかけていただくよう特段の配慮をお願いする。 ・中津日田道路の建設促進について特段の配慮をお願いする。 <p>○経済5団体「東九州新幹線の整備計画路線への格上げ」「高規格道路の整備促進」「東九州自動車道における暫定2車線区間の早期4車線化」についての要望(R4.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げ、高規格道路の整備促進、東九州自動車道の早期4車線化について特段の配慮をお願いする。
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路は残る未事業化区間「大分宮河内～犬飼」の計画段階評価の加速と事業中区間「竹田阿蘇道路」の整備促進を要望していく。 ・中津日田道路は「耶馬溪山国道路」「日田山国道路」など全長約55kmのうち9割を超える区間で事業を展開している。事業中区間の整備を推進するとともに、国が進める「三光本耶馬溪道路」の整備促進と、田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間の1日も早い開通を要望していく。 ・東九州自動車道では「宇佐IC～院内IC」間、「臼杵IC付近」「大分宮河内IC～臼杵IC」「津久見IC～佐伯IC」の4区間、約21kmで4車線化事業が展開されている。残る「優先整備区間」について、引き続き早期事業化を要望していく。 ・東九州新幹線等の整備計画路線への格上げに向けて、国等へ強く働きかけていくとともに、シンポジウムや説明会の開催などにより、将来を担う若い世代を中心に、幅広く県民の機運醸成を図っていく。